未来の君も　きっとここで　笑顔になる　連携型中高一貫教育校

小瀬高だより

2022.10.25
No.29

連携型中高一貫教育　スポット的授業で「新たな発見」！

連携型中高一貫教育の一環として、スポット的授業（先生方が相互に連携校で授業を行う）を行っています。これまでに理科と国語科で、小瀬高の先生が明峰中に訪問し、中学生を対象に授業を行いました。それぞれの授業の様子を紹介します。

理　科（９／８）

中学２年生を対象に、中学校周辺で採取した植物を教材として、観察を行いました。身近なものを題材としたことで、興味をもって活動することができました。

グループでの話し合いの中で、みんな笑顔だったことが印象的でした。授業を担当した宮本先生も、いつもとは違う生徒の皆さんの反応に、たくさん刺激をもらったはずです。今日の授業がきっかけとなって、「理科が好き！」な生徒が増えたら今日の授業は大成功ですね。

中学生の皆さんは、タブレットを巧みに操りながら、とても楽しそうにグループで意見交換をしていました。

高校の先生からより専門的な話を聞くことで、たくさんの「新たな発見」があったと思います。

国語科（１０／２０）

中学３年生を対象に授業を行いました。授業を担当した小林先生は、「わくわく・どきどきと感じる場面は？」と言う問いで、言葉の微妙な感じ方の違いについて考えました。付箋を使い意見交換することで、自分が考えていることを可視化しながら話し合いを進めました。

普段何気なく使っている言葉について問い直してみることで、「新たな発見」があるはずです。「わくわく」と「どきどき」の境界線はどこにあるのか…とても気になりました。

国語科のスポット的授業には、３年生の岡﨑さん（明峰中卒）も参加しました。授業のサポートや高校の授業で学習した「和歌」について話をするなど大活躍でした。先輩の頼もしい姿、輝いていましたよ！

No Challenge　No Future